

徳田 悠希

TOKUDA, Yuki



講師

所属…環境学部 環境学科

Profile

■ 主な担当科目	地学概論、地形・地質学、地学実験
■ 研究者略歴	
2006 (平成18) 年 3月	大阪市立大学理学部地球学科 卒業
2008 (平成20) 年 3月	大阪市立大学理学研究科前期博士課程 修了
2010 (平成22) 年 3月	大阪市立大学理学研究科後期博士課程 単位取得退学
2010 (平成22) 年 4月	鳥取県立博物館 学芸員
2012 (平成24) 年 4月	鳥取県立博物館 主任学芸員
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師

Research

■ 取得学位	博士(理学) (大阪市立大学)
■ 専門分野	地質学 古生物学
■ 現在の研究テーマ	・ インサンゴ類の適応進化史の解明 ・ 鳥取県の中新統から産出する化石群集の再検討と古環境復元 ・ 山陰海岸に分布する海食洞の形成様式の解明 ・ 日本周辺海域における底生生物遺骸群集の分布様式の解明
■ 受賞歴	2009年1月 日本古生物学会 優秀ポスター賞 2009年9月 日本地質学会 優秀ポスター賞 2012年9月 日本地質学会 優秀ポスター賞
■ 所属学会	日本古生物学会、日本地球惑星科学連合、日本サンゴ礁学会、鳥取地学会

Data

■ 研究等活動	
【論文】	
・ How does flow recruit epibionts onto brachiopod shells? Insights into reciprocal interactions within the symbiotic framework (共著), in press, Palaeoworld.	
・ Burrowing hard corals occurring on the sea floor since 80 million years ago (共著), 2016, Scientific Reports 6, 24355; doi: 10.1038/srep24355.	
・ 現生種と絶滅種の収斂進化—単体サンゴの固着器官の進化史— (共著), 2016, タクサ 日本動物分類学会誌, 第40号, p. 3-8.	
・ 大田市五十猛町猛鬼海岸における大森層の混在岩に含まれる泥岩塊から産出した浮遊性有孔虫化石 (共著), 2015, 鳥根県地学会会誌 第30号, p. 13-18.	
・ 鳥取県立博物館のダイオウイカ液浸展示標本 (共著), 2014, 鳥取県立博物館研究報告 第51号, p. 67-71.	
・ Attachment structures in <i>Rhizotrochus</i> (Scleractinia): Macro- to microscopic traits and their evolutionary significance (共著), 2013, Lethaia vol. 46, p. 232-244.	
・ 「総合的な学習の時間」におけるジオパークと博物館の活用事例 (共著), 2012, 鳥取県立博物館研究報告 第49号, p. 17-28.	
・ Asexual reproduction of Pliocene solitary scleractinian coral <i>Truncatoflabellum</i> : Morphological and biometric study (共著), 2012, Journal of Paleontology vol. 86, p. 268-272.	
・ Influence of different substrates on the evolution of morphology and life-history traits of azooxanthellate solitary corals (Scleractinia: Flabellidae) (共著), 2010, Biological Journal of the Linnean Society vol. 101, p. 184-192.	
■ 社会貢献活動	
・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会 学術部会鳥取分会 委員	
・ 鳥取地学会 幹事	